

◎日時 2025年11月15日(土) 14:00～15:30

オンライン開催(Zoom使用)

◎テーマ **英空母日本寄港とその戦略的意義**

2025 年、英国海軍の空母プリンス・オブ・ウェールズを主体とする空母打撃群 (Carrier Strike Group, CSG) が 4 年ぶりに日本を訪問した。ウクライナ戦争で緊迫化する欧州情勢の下、なぜ英国は第一線部隊をインド・太平洋方面に派遣したのか。この英国の戦略的意図と、インド太平洋における日英・日米英連携の意義を多角的に検討する。英国の「グローバル・ブリテン」戦略の延長線上に位置づけられる今回の展開は、単なる友好訪問ではなく、自由で開かれた国際秩序をめぐる日本への実践的なメッセージでもある。

第 63 回定例研究会では、英空母打撃群の日本寄港とその戦略的意義について、日英防衛協力における実務・研究に携わってきた講師をお招きし、政策・作戦・象徴という三層構造から海洋国家の戦略を読み解く。

◎講師

北川敬三氏 慶應義塾大学総合政策学部 教授

講師プロフィールは裏面参照

◎参加費 **戦略研究学会会員 無料 非会員 1,000円**

■参加方法: 会員・非会員とも **事前参加登録** が必要です

①学会HPの専用サイト、

または下記URLより事前参加登録してください。

11月12日(水)午後5時 締切(厳守)

参考申込用URL : <https://forms.gle/vwk2zKTS4ToXGH2S6>

⇒ QR コードからもアクセスできます。



②非会員の方には参加費納入口座をメールにてお知らせしますので、

11月13日(木)午後3時までに振込手続きしてください

(事前納入が完了しないと参加できません)

③当日のアクセス URL は**11月14日(金)**にお知らせします。

戦略研究学会

162-0805 東京都新宿区矢来町 113-1

TEL 03-5579-8286 FAX 03-5579-8786 <https://www.j-sss.org/> jimukyoku@j-sss.org



北川 敬三 (きたがわ・けいぞう)

慶應義塾大学総合政策学部 教授

1993年に米国海軍兵学校卒業後、海上自衛隊入隊。2007年に防衛大学校総合安全保障研究科修士課程を修了。2015年に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程を単位取得退学し、2018年に同研究科より博士（政策・メディア）を取得。護衛艦まつゆき艦長、在英国防衛駐在官、第二護衛隊司令、海上幕僚監部海上防衛戦略室長、海上自衛隊幹部学校防衛戦略教育研究部長などを経て、2024年12月退官。元一等海佐。2025年4月より、現職。

主著：『軍事組織の知的イノベーション——ドクトリンと作戦術の創造力』（勁草書房、2020年、単著）、『海洋国家としてのアメリカ——パクス・アメリカーナへの道』（千倉書房、2013年、共著）、*Strategy and the Sea*（Boydell Press, 2016, 共著）、『軍事理論の教科書——戦争のダイナミクスを学ぶ』（勁草書房、2021年、監訳）など。